

ガバナー就任に際して

国際ロータリー第2660地区

ガバナー 宮田 宏章

19世紀後半から20世紀の初頭にはアメリカンドリームの大成功した少数の資本家がはばをきかせ、同業者は全て蹴落とすべき敵対者であると考えられていました。ビジネスマンは誰もが一攫千金を夢見るような状態で殺伐とした環境であり、「友情・友好・友愛」などがとても生まれるような環境ではありませんでした。その中で同じ価値観を持ち、異業種で共にすべてを語り合える真の仲間の集まりとしてロータリークラブがシカゴで1905年発足したのです。

そして、本年度100周年を迎えます。ポール・ハリスが最初に始めた時の原則は相互扶助であります。その後シカゴ市に公衆便所を寄贈しこれが最初の社会奉仕となりました。しかしこの事が親睦派と奉仕派の対立を生み、また相互扶助即ち物質的な利益から精神的な職業倫理の必要性が議論されるようになりました。職業奉仕の考え方から11ヶ条道徳律採択がされましたが、ここで行動派と理論派の大論争を迎え、決議23-34が採択されて論争に終止符が打たれます。創立から18年目、ロータリーの基本理念が定まったわけです。その時代時代に対応しながら努力し困難を乗り越え、ロータリーは発展し続けて現在に至っております。現在ロータリーは世界的に会員の減少という困難がありますが、121万人を擁する、世界に誇れる、特色ある巨大な奉仕の団体といえると思います。



さて本年度のロータリーのテーマとRI会長強調事項について説明申し上げます。テーマは“**Celebrate Rotary 100years** ロータリーを祝おう”です。Celebrateと祝うを辞書で引くと、「めでたい出来事を祝賀する」「心身を清浄にして無事安全を祈り神を祭る」とあります。英語でも日本語でもだいたい同じ意味です。「祝う」といって、酒を飲みバンザイするわけではなく、どちらかというと「記念する」という意味に位置付けたらどうかと考えます。「記念する」を辞書で引くと「過去の出来事への思いを新たにしておこなう事」とあります。会社とか学校の創立記念日と同じで「過去を振り返り創業を称え成功を喜び、苦しんだ時の事を良い経験として現在にベストを尽くし未来を志向する」事ではないかと思えます。

RI会長の強調事項で特に大切な項目のみ申し上げます。

100周年に当り

①**双子プログラムプロジェクト**

②**100周年社会奉仕**

の推進。これを当地区に当てはめると「ツイン(双子)プログラムプロジェクト」はシスタークラブとWCSを一緒に行い出来ればマッチング・グラントを貰って行動する事であります。また社会奉仕とは、100周年に当たり何か各クラブでクラブにあった行事を行う、つまりお金があれば金をかけるプロジェクトを行うのも良いし、お金がなければ汗水たらす奉仕を行ったらどうかという事だと考えます。また2005年2月23日を含む週には各クラブとも印象に残る例会を行っていただきたいと思ひます。

次に当年度の目標として

①**識字率の向上**

②**ロータリーの家族**

③**保健**

④**水**

が上げられました。

②の**ロータリーの家族**は本年度も強調事項になっていますが、自分の家族は勿論のこと、ロータリーを辞めた方、また亡くなられた方の家族の方々を大切にしてお関係が続けようという意味です。週末は特に夫をロータリーに取られていると感じておられる御夫人方が案外多いのではないかと思います。是非奥さんや子供達も親睦会や奉仕に巻き込んで一緒に行動しましょう。ロータリーは家族の応援も基本でありましょう。また財団学友をはじめローターアクト、インターアクト及びGSEのOB(アルムニ)の活動もロータリーの家族を巻き込んだものといえましょう。

次に継続目標ですが、

①**ポリオ・プラス**

②**会員の増強**

③**財団への支援**

があります。

①**ポリオ・プラス**は本年度は撲滅を証明する年となっており、1985年から20億人の子供に経口ワクチンを投与し、ここまでやってきた全世界のロータリアンに感謝したいと思います。

②**会員の増強**は皆様が毎日感じている通りです。この難しい時期こそ努力してそれぞれのクラブで、クラブにあった人柄の方を探し、入会してもらう事が必要と考えます。

③**財団への支援**は本年度から地区年次寄付の目標が各クラブの目標の集計という「ボトムアップ」で決まる事となりました。

◎**その他、職業の倫理**についてRI会長エレクトとして触れられましたが、RI会長エレクト自身が国際協議会で触れたのは初めての事とお聞きしております。

次に2660地区方針です。

先程説明しました様に「**ロータリー100周年を記念しよう**」です。

1. **地区としてクラブとして100周年記念のプロジェクトを行い、100年の奉仕の歩みを大いに称えましょう。**

予算に合った地域に密着した社会奉仕、クラブ奉仕、職業奉仕、青少年奉仕、国際奉仕、ロータリー財団等、何でも良いですから奉仕によりマスコミも巻き込んでロータリーの名を広めましょう。クラブで周年創立記念祝賀会があれば100周年記念と一緒にされてはどうでしょうか。また記念すべき2005年6月の百周年シカゴ国際

大会には各クラブで誘い合わせ家族共々多数で出席しましょう。きっと一生に残るメモリーとなることでしょう。

2.ロータリー100年の歴史とロータリーの原理を学ぼうー未来に自信を持とう

100周年にロータリアンとして在籍している事はまことにラッキーな方々だと言えると思います。この際、歴史と原理を勉強してみてもどうでしょうか。きっとロータリーについて自信喪失しているロータリアンも、未来に自信が出来ると確信します。

3.変えてはいけないロータリー、変えなくてはいけないロータリー

2.を実行する事によりロータリーの原点に戻って現代に合った変革が考えられ、それを実行したらよいと考えます。皆様のクラブも例年通りの奉仕を単に継続する

のではなく、何か新しい事、変わった事をやって頂いてはどうでしょうか。

4.金のかからぬロータリー、汗水たらすロータリー

経済不況で会員減少の折から地区・クラブとも運営費・活動費の圧縮は止むを得ないと考えます。

5.「わいわい、ガヤガヤ」

クラブが主役です。入会したい、皆と一緒に居たい、家族を巻き込んだ楽しい特色あるクラブであるよう努めたいものです。

最後にGE就任以来絶えず温かい友情で御支援を下さいました多数の地区ロータリアンの皆様に心より感謝申し上げます。引き続き任務完了まで御支援下さいます様お願い申し上げます。



ガバナープロフィール

国際ロータリー第2660地区
ガバナー 宮田 宏章

- 生年月日 1933年(昭和8年)2月11日
- 住所 〒665-0061 兵庫県宝塚市仁川北3丁目2-27
〒102-0082 東京都千代田区一番町14番地 一番町マナーハウス901号
- 最終学歴 甲南大学経済学部卒業、ワシントン大学経営学部大学院修学
- 職歴

1959年11月	住友商事株式会社	入社
1970年 4月	〃	退社
1970年 4月	小林製薬株式会社	入社
1992年12月	〃	副社長 就任
1999年 6月	〃	副会長 就任
2001年 6月	〃	副会長 退任
現 在	株式会社フォーラム 代表取締役/財団法人 宮田心臓病研究振興基金 理事長	
- ロータリー歴

1977年 7月	大阪北RC入会
1982～85年	地区国際交流委員長
1985～86年	地区国際交流委員、大阪北RC幹事
1987～88年	地区世界社会奉仕委員長
1988～89年	地区世界社会奉仕委員長、地区大会 国際奉仕部門サブリーダー 地区協議会 国際奉仕部門討論リーダー、国際交流委員長(理事)
1989～90年	地区世界社会奉仕委員長、地区大会国際奉仕部門サブリーダー 地区協議会国際奉仕部門討論リーダー
1991～92年	地区幹事、研究グループ交換委員長
1992～93年	国際奉仕委員長(理事)
1997～99年	地区財団情報委員
1999～00年	地区財団情報委員長、地区ロータリー財団委員、大阪北RC副会長、クラブ奉仕委員長
2000～01年	会員増強委員長、地区幹事、地区財団情報委員長、地区ロータリー財団委員
2001～02年	地区ロータリー財団委員長
2002～03年	大阪北RC会長
2003～04年	地区ガバナー補佐

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者
職業分類) 心臓病研究振興

